



K J V A

高知県小学生バレーボール連盟

広報委員会通信

No, 1

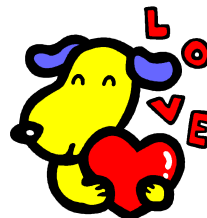
令和2年2月11日

春はそこまで

きさらぎ（生更ぎ）と言われる2月。

暖冬とは言え、寒さも頂点をむかえ、体のしんまでふるえてしまう日もあるこの頃ですが、こよみの上では春はもうすぐです。

もうひとがんばり、というところで疲れが出て、体の調子をくずしてしまう事もよくありますので、お互い充分注意しましょう。そして訪れる春を心待ちにしながら、新しい令和2年度の各大会に向かってがんばりましょう。



子どもたちや各指導者に考えてほしい事！

私たち指導者も子どもたちの生活においても以下の事（順）を基本にしながら、健康・安全を第1に、心身のバランス良く、生活していきましょう。

また学習やスポーツ・遊びに集中できる環境作りに力を合わせましょう。

- 1 心身の健康と安全
- 2 家族（お手伝い・家族の計画 など）・地域（行事・地域の習慣）
- 3 学校の学習・宿題
- 4 スポーツや遊び・学校以外の習い事

～倫理講習会後のアンケートから～

「★あなたは、ジュニアバレーボールの指導者（保護者）として、何を子どもたちに教えたい（伝えたい）と思っていますか。」

の設問で、多かった回答を抜粋して掲載しています。

【指導者】

団体行動・協調性。
あいさつ・礼儀・マナー。
目標に向かい努力することのすばらしさ。
あきらめない心。
為せば成る、為さねばならぬ。
チャレンジ精神。
やさしさ・思いやり。
成功体験。
達成感。
自己効力感。
利他の心。

他

【保護者】

団体行動・協調性。
あいさつ・礼儀・マナー。
バレーボールの楽しさ。
やさしさ・思いやり。
やればできるという考え。
心の許容量を広げる。
コミュニケーションスキル。
運動能力の向上。
礼儀・節度・作法。
生涯スポーツを楽しむ心。
自己効力感

他

※傾向として、指導者は目標に向かって頑張る心をあげる方が多く、保護者の方々からは、あいさつや礼儀・マナーそして相手のことを考えて行動することを願う声が多かったです。

2月1日(土)「日小連啓発事業」

【ねらい】

- ・子どもたちの可能性を最大限に伸ばすスポーツ指導について学ぶ。
- ・社会に認められるスポーツ指導者であるには、どのような資質が必要かについて知る。

【講師】

高知大教育学部 矢野宏光教授 「スポーツ場面における適切で効果的な指導について」

【対象】

高知県小学生バレーボール連盟 加盟チーム 指導者及び保護者会会長

2月の肌寒い日でありましたが、皆様多忙中にもかかわらず、当日は約70名以上の参加を得ることができました。ありがとうございました。

矢野教授の経験に裏打ちされたお話は、大変説得力があり、参加者の心にしみいりました。講演は、終始明るくやさしい雰囲気での語り口でありましたが、その中に体罰や暴言は許さない・許されないという毅然とした態度もしっかりと示され、学ぶべき点の多い90分だったと思います。特にしかり方のポイントやいかりの沈め方、安易にほめる事への警鐘などは、明日から実践していきたいと思うお話でした。

アンケートには大変参考になった、よくわかったという声が多々あり、とてもうれしく思いました。矢野教授の講演をお聞きしたことで、各指導者のこれから歩むべき道標や本連盟の未来が明確になり、子どもたちの指導熱やバレーボールへの愛が高まり、新たな意欲がわき、選手増、連盟発展につながることを心より期待しています。



～倫理講習会後のアンケートから～

「新しく知ったことや学んだこと、気が付いたことなどをお書きください。」

- ・アンガーマネジメント
- ・強いとは・・・くずれない・こわれない・あきらめない。
- ・時代の変化や流れに合わせていく事。
- ・自己効力感から成功体験を積み、自尊感情が芽生える。
- ・怒ることとしかることの違い。
- ・感情のコントロール。
- ・1メッセージの大切さ。
- ・ほめるだけではうまくいかない、正しくしかる事が大事。
- ・コミュニケーションの大切さ。
- ・「べき」を見直す。

e t c



効果的なアンガーマネジメント法

- 1 タイムアウト法（その場からいなくなる）
- 2 テンカウント法（10数える）
- 3 バルコニー法（見方を変える）
- 4 力を抜く
- 5 キーワードを唱える
- 6 深呼吸をする。
- 7 思考を停止する。または話題を変える。